

広報はだの10月15日号に関するアンケート

回答数	13
-----	----

問1 図書館をどの程度利用していますか。

項目	ほとんど毎日	週2～3回程度	週1回程度	月1回程度	年数回程度	利用していない
回答数	0	1	0	2	6	1

問2 図書館が11月1日に開館40周年を迎えることは知っていましたか。

項目	知っていた	知らなかった
回答数	3	10

問3 これからの図書館に期待することがあればお聞かせください。

- ・市民文化を維持するには必要な施設です。今後も豊富な蔵書を維持してください。
- ・本は連絡所等で借りることができるので、非常に便利になりました。図書館のような学習スペースを別の場所にも設けてほしいです。秦野市の図書館は渋沢の方なので大根鶴巻地区からは遠いです。こども館も秦野なので遠いです。各地域に中高生が静かに勉強できる場所があると助かります。よろしくお願い致します。
- ・蔵書、新刊を増やしてほしい。他の図書館から借りてもらうと貸し出し期間が短いので、できれば購入リクエストもできたら良い。
- ・もう10年くらい秦野市民ですが、どこに行けばあるのか知りません。
- ・ゴールデンウィーク明けに小田原から引っ越ししてきて秦野の図書館がどこにあるか知らないです。
- ・もっと積極的に図書館の魅力を伝える努力をするべきでは。

問4 広報はだのを読んで、ご意見がありましたらお聞かせください。

- ・広範囲な情報がわかるので、とても役立っています。
- ・「催し」障害者差別解消フォーラム2025に、「手話通訳」「要約筆記」を付けてくださるよう要望します。耳が聴えない人、聴こえにくい人はどのような方法で内容を知ることができるか、担当の方に考えて頂きたいと思います。
- ・お祭りや近隣地域の花火大会や寺社仏閣等の祭事や神事や御開帳、または文化遺産等の展示に関する記事 日程 時間等の詳細のアナウンス、せっかく歴史の深い地域ですので、もっとアピールしないと正直勿体ないと思っております。
- ・障害者差別解消フォーラムに手話通訳が付くのか記載が無い。そのため講演に通訳がついているのか分からない。付いていないと講演の内容が分からないため、参加を諦めることになる。合理的配慮として、手話通訳が付くことを希望。また、その場合は、広報誌に手話通訳が付くと分かるマークを表示するなど対応をして欲しい。
- ・聞こえて見える者から見て、見えない方に対し音声板がある等記載で配慮が見られますが、聞こえない人に対しての配慮が感じられない。希望すれば手話通訳がつけられる。の記載や既に手話通訳がついてるにも関わらず告知がない(勿体ない)等何故でしょうか。申し込みたいけど通訳(記載無い)ついてないから無理と聞く事があります。
- ・電子図書館があるのは知らなかった。利用してみたい。

○性別

項目	男性	女性	無回答
回答数	7	3	3

○年齢

項目	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代以上
回答数	0	1	2	5	3	2